

日時: 令和04年8月14日(日) 10時~12時

場所: 戸畑生涯学習センター 上田, 竹内(英), 讃井, 林田, 佐々木, 竹内(孝),
3階第2集会場 川内, 若曾根, 金丸

1. 3分間スピーチ(主な内容について)

1	上田	・本日は第2次世界大戦、ポツダム宣言受託の日です。父が軍人であったこともあり、戦争の資料を集めている。機会があれば卓話をしたい。
2	讃井	・戸畑市史を読んでみた。古代史、日本書紀と古事記と戸畑の関連を調べている。
3	川内	・盆にちなんだ話であるが、初7日~49日。7日毎に地獄の閻魔大王に審査される、亡くなられた安倍総理はどうか？
4	竹内(孝)	・現在でも満潮や大潮の時は天籟寺の所迄、天籟寺川は逆波が来ている。昭和55年の文化財を守る会の会報は戸畑の関連の記事が多い。
5	竹内(英)	・郷土戸畑の原稿は4ページ位で。若戸大橋ウォーキングの件について。
6	林田	・各自自治体の資料館を巡っている。今年の郷土戸畑に載せる原稿の参考にしたい。
7	佐々木	・施設にいと、コロナの影響を受けて外出禁止令が出ている。ディサービスは特に規制されずに行くことができるので2日/週通い始めた。
8	若曾根	・槻田市民センターの依頼で槻田の歴史の講座を依頼され何とか資料が出来上がった。今日はその一部を卓話で話します。

2. 「金丸氏(元会員)」からの依頼

- ・中原の国境石についての古い写真があれば是非見せてほしい。情報も歓迎します。1枚の境川下流の国境石(控え石)が移る写真にて、現在との比較を説明された。古い石橋が移されており「ながみ橋」と呼ばれていた。
- ・1710年密貿易の取締りに、長州・小倉・福岡の3藩に命令が下る。櫓山にて小倉藩が見張り。(高橋、森、安田の下士が常駐)

3. 卓話

「八幡東区 槻田地区の古代遺跡」

現在の槻田川及び板櫃川沿いに点在する古代遺跡の説明。

主な遺跡は「高槻遺跡」で石斧を製造していた事が、発掘で確認された。

同様な石斧の製造が付近の遺跡でも発見されており、この地区が特殊な集落であった。

弥生時代から古墳時代と思われる、石棺や円墳が見られるが、ここを治めていたと思われる首長の墓は見つかっていない。曾根や遠賀川下流の部族の一部が移動してきたのかとも思われるが、根拠は見つかっていない。

4. その他

- ・来月の定例会は 9月4日(日) 10~12時 戸畑生涯学習センター

卓話は林田氏の予定。文化祭に向けての意見交換も予定。